

# くじゅう地区管理運営協議会

## 令和5年度 活動報告



阿蘇くじゅう国立公園 長者原ビジターセンター



# 目次

<b>I. 長者原ビジターセンター等運営管理業務</b>	
1. 長者原ビジターセンター利用状況	
(1) 入館者数	1
(2) ハイビジョン映像上映回数	1
2. 利用案内と展示・自然ふれあい事業	2
(1) 利用案内・電話対応及び国際化	3
(2) 館内展示および自然ふれあい事業	3
① 常設展示	3
② 企画展示	3
③ 自然ふれあい・解説事業	7
④ 館内維持管理業務	9
3. 来館者アンケート結果	11
	12
<b>II. 教育・普及啓発活動</b>	
1. 普及啓発活動	15
2. 環境教育活動	23
<b>III. 自然環境保全・調査活動</b>	
1. 自然環境保全活動	25
2. 調査活動	27
<b>IV. 登山道等管理活動</b>	
1. 登山道保全活動	28
2. 長者原周辺の美化清掃活動	31
<b>V. その他</b>	
1. くじゅうファンクラブ賛助会員・寄付制度	32
2. 職員研修実績	33
3. 新聞掲載記事	35
4. 地域の概要	36
5. 運営体制	37

# I. 長者原ビジターセンター等運営管理業務

## 1. 長者原ビジターセンター利用状況

### (1) 入館者数

- ・令和5年度の入館者数は、132,996人であった（前年度比：約9%増）。
- ・入館者数は、新型コロナウイルス感染症の影響からの回復や海外からのインバウンド客の増加により、平成9（1997）年の現在地への移転以降2番目の多さになり、10月と2月は過去最多であった。5月、8月、10～11月は例年同様に入館者数が多く、12月～4月は比較的少なかった。

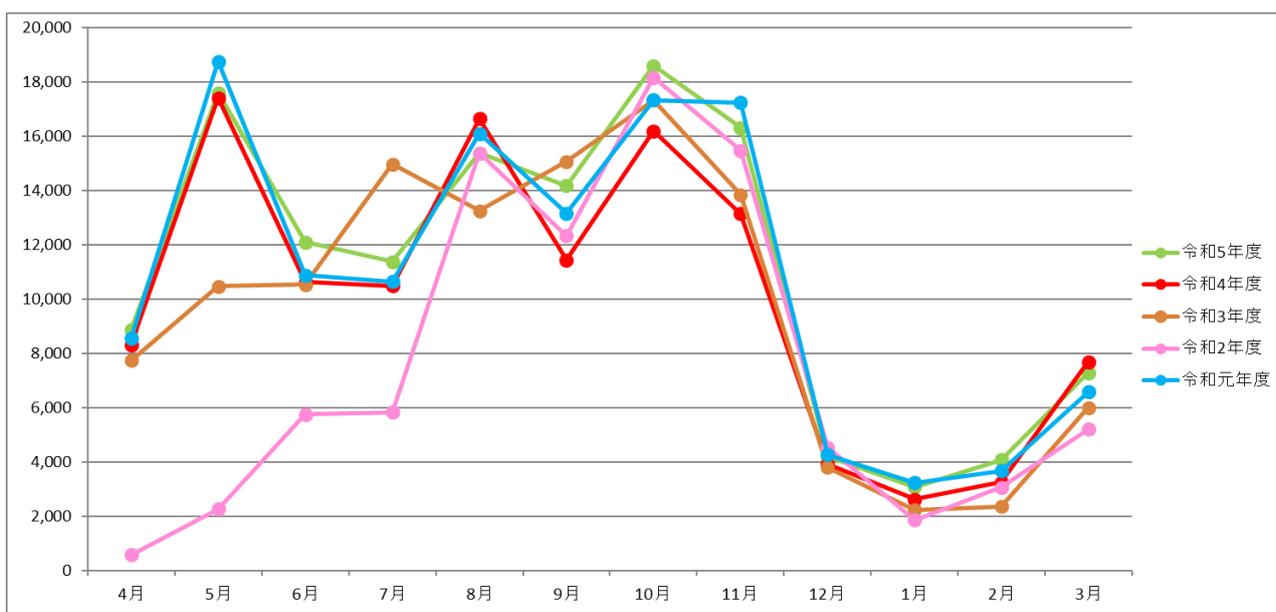


館内利用の様子

入館者数一覧表（令和元年度～令和5年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
令和5年度	8,857	17,596	12,087	11,372	15,383	14,165	18,593	16,314	4,209	3,071	4,076	7,273	132,996
令和4年度	8,305	17,404	10,625	10,484	16,646	11,441	16,185	13,148	3,915	2,621	3,244	7,689	121,707
令和3年度	7,730	10,474	10,532	14,969	13,256	15,065	17,333	13,841	3,797	2,227	2,354	6,006	117,584
令和2年度	578	2,269	5,750	5,830	15,381	12,331	18,153	15,475	4,537	1,853	3,060	5,206	90,423
令和元年度	8,551	18,756	10,873	10,641	16,102	13,161	17,324	17,234	4,263	3,239	3,671	6,574	130,389

入館者数推移（令和元年度～令和5年度）



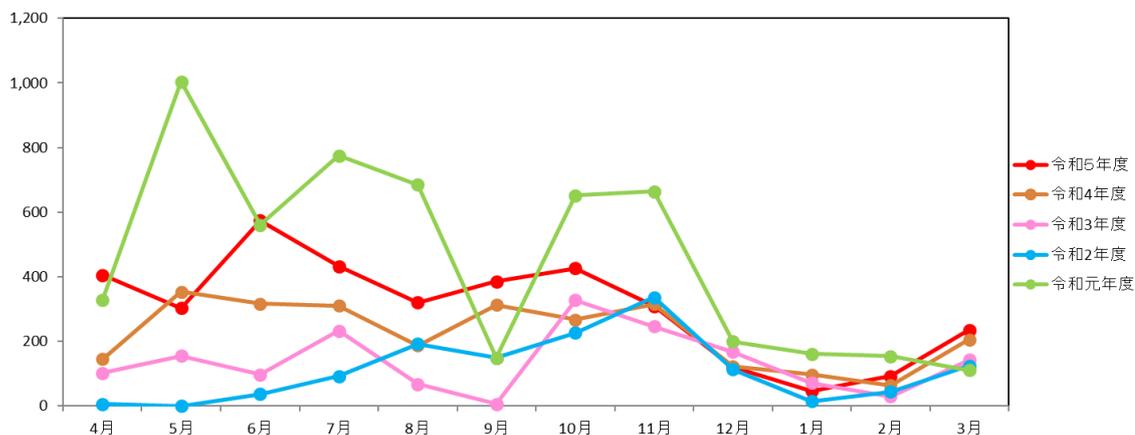
## (2) ハイビジョン映像上映回数

- ・令和5年度のハイビジョン映像上映回数は658回、延べ人数は3,652人で、人数は前年度に比べ35%増となった。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大時に上映回数や入場者数の制限をおこなっていたため、この数年は視聴人数が少なかったが、令和元年度には届かないものの回復してきている。インバウンド客の増加に伴い、外国語上映回数も増えている（英語：315人 中国語：53人 韓国語：242人）。

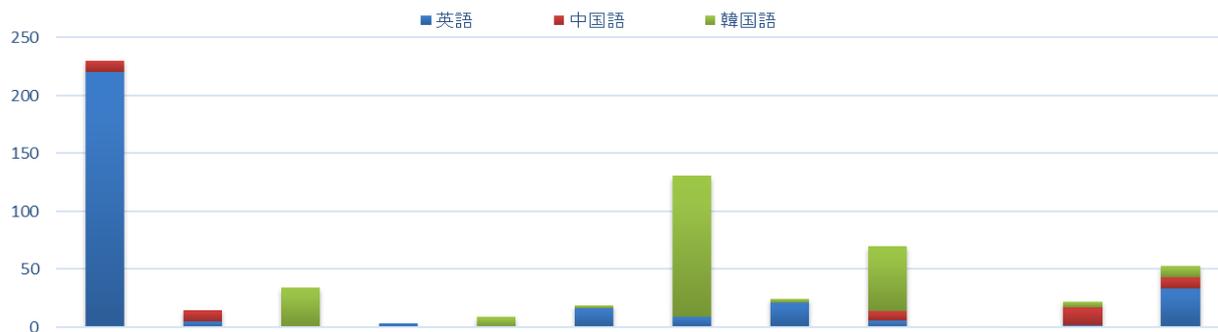
ハイビジョン映像上映人数一覧表（令和元年度～令和5年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
令和5年度	406	303	574	432	320	386	426	309	121	47	93	235	3,652
令和4年度	146	354	317	310	187	313	267	316	122	98	64	206	2,700
令和3年度	102	155	97	233	68	6	328	246	168	71	30	143	1,647
令和2年度	6	0	37	93	192	149	227	337	114	15	45	124	1,339
令和元年度	329	1,004	561	775	685	149	652	664	200	162	154	111	5,446

ハイビジョン映像上映人数推移（令和元年度～令和5年度）



外国語上映人数内訳（令和5年度）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
英語	220	5	0	3	0	16	9	21	6	0	2	33	315
中国語	10	10	0	0	0	0	0	0	8	0	15	10	53
韓国語	0	0	34	0	9	3	122	3	56	0	5	10	242
合計	230	15	34	3	9	19	131	24	70	0	22	53	610

## 2. 利用案内と展示・自然ふれあい事業

### (1) 利用案内・電話対応および国際化

- ・ビジターセンター受付カウンターおよび館内にて、国立公園の利用案内や自然情報等の情報提供をおこなった。頻繁に尋ねられるミヤマキリシマの開花や紅葉の時期については、一覧にしたボードを作成し、来館者がわかりやすいよう工夫した。
- ・観光案内所の職員と協力して、周辺の観光施設や宿泊施設についても案内した。
- ・電話による問い合わせに対しても、受付カウンターでの対応と同様に対応した。5月～6月（主にミヤマキリシマ情報）、10月（主に紅葉情報）には特に電話による問い合わせが多かった。冬季は積雪や道路の状況についての問い合わせが多かった。
- ・英語での利用案内・解説ができる自然解説員を配置して利用案内の国際化に努めるとともに、英語で会話している来館者にも積極的に英語で対応した。
- ・受付カウンターに英語での対応ができることのほか、筆談でも案内できることを表示した。また、音声翻訳機「ポケトーク」を配備し、英語以外の言語にも対応した。
- ・海外からのEメールによる問い合わせにも対応した。
- ・クイズラリー・スタンプラリーなどの館内アクティビティについては英語版も提供した。



英語による案内のようす

### (2) 館内展示および自然ふれあい事業

#### ① 常設展示

- ・下記の頻度で手作り展示を更新した。手作り展示や館内案内は原則として英語併記をおこない、展示・案内の国際化に努めた。

展示内容		展示場所	更新頻度
お知らせコーナー	写真①	2階入口付近	随時
くじゅうの自然写真館	写真②	2階受付付近	随時
登山のルールとマナー	写真③	2階受付付近	年6回
観光情報コーナー	写真④	2階受付付近	随時
展望コーナー周辺	写真⑤	2階展望室付近	随時
くじゅう連山自然情報	写真⑥	2階受付付近	随時
ハンズオンコーナー	写真⑦	1階壁面付近	年7回
くじゅう植物図録	写真⑧	1階野焼きコーナー横	随時
タデ原フィールドガイド	写真⑨	1階入口付近	随時
キッズコーナー	写真⑩	1階階段横	年1回
くじゅうの自然を支える活動	写真⑪	階段ボード	年2回
チームタデ原活動紹介	写真⑫	階段ボード	年6回
登山道等整備活動紹介	写真⑬	階段ボード	年2回

## デジタルセンター2階

・2階はメインの入口となっており、来館者の出入りも多いため、自然に関する情報および登山道情報を提供したり、展望を利用した休憩スペースを設置したりしている。また、観光利用者や登山初心者向けに、登山の服装等のマナーや、周辺地域の観光情報等もわかりやすく紹介している。



① お知らせコーナー  
センターや関連機関からのお知らせ等を掲示した。



② くじゅうの自然写真館  
季節ごとの旬な風景や動植物の写真を展示した。



③ 登山のルールとマナー  
登山の初心者向けに、季節ごとの登山の服装や  
注意点などの説明をした。



④ 観光情報コーナー  
国立公園周辺の見どころ等を、カケスマップ（周  
辺観光マップ）や写真などを使って紹介した。



⑤ 展望コーナー  
雄大な景色を眺められるコーナーで、望遠鏡、書  
籍、新聞を置いて、くつろげるようにした。



⑥ くじゅう連山自然情報  
マンサクやミヤマキリシマの開花情報、紅葉情報  
など問い合わせの多いものを掲示した。

## ビジターセンター1階

- ・1階は、滞在時間が十分にある来館者が多く、タデ原湿原木道やくじゅう連山登山道につながる出入口となっているため、タデ原やくじゅう連山についての詳しい自然解説内容を展示した。



⑦ ハンズオンコーナー

実物に触れたり匂いを嗅いだりすることができるハンズオンコーナー。飯田高原の草こづみ、カヤネズミ、カエデの種や木々の冬芽、紅葉、マンサクなどの動植物のほか、化石や硫黄鉱山についても紹介した。



⑧ くじゅうの植物図録

ボランティア団体「九重の自然を守る会」が作成した植物図録を季節ごとに入れ替えて展示した。



⑨ タデ原フィールドガイド

タデ原で今見られる動植物などを、楽しみ方の幅を広げる職員手づくりの解説付きで紹介した。



⑩ キッズコーナー

自然関係の絵本やパズルなどを置き、子どもや親子連れがゆっくり遊べるコーナーにした。

## 階段

- ・2階の入り口からの来館者がタデ原湿原や館内トイレに向かう動線上であり、多くの来館者が自然と展示を目にする場所であることから、くじゅうで行われている自然保護活動等を普及啓発する内容を展示した。



### ⑪ くじゅうの自然を支える活動

「飯田高原野焼き実行委員会」による野焼き、「パークボランティアの会」の活動、「九重の自然を守る会」の植物モニタリング調査を紹介した。



### ⑫ チームタデ原活動紹介

九重町の小中学生が参加する「チームタデ原」の活動を紹介した。



### ⑬ 登山道整備活動紹介

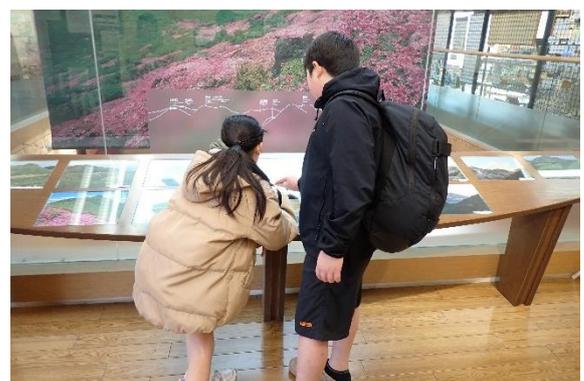
玖珠美山高校および久住高原農業高校が継続している登山道整備・環境保全活動を、協力者とともに紹介した。

## クイズラリー・スタンプラリー

- ・来館者が目的をもって展示を楽しめるように企画したアクティビティ。特に、子どもたちが喜んで参加していた。参加者数はクイズラリーが 580 人（前年度比 160%増）、スタンプラリーが 1,011 人（前年度比 26%増）であった。
- ・クイズラリーは学校団体での利用が多かったため、参加者数が昨年度に比べ大幅に増えている。
- ・シートは日本語と英語の 2 種類を用意した。
- ・参加者に受付でオリジナルシールをプレゼントし、好評であった。



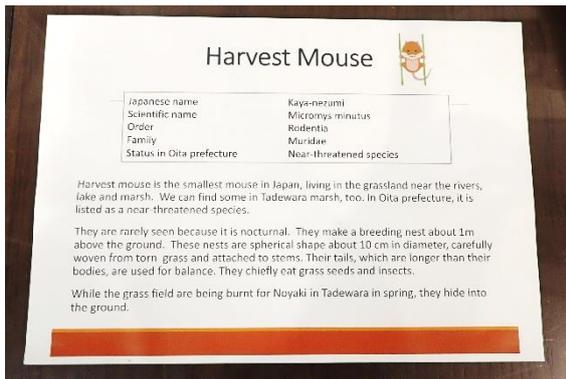
クイズラリー・スタンプラリーシート配布の様子



クイズラリー・スタンプラリーの参加者の様子

## 展示の国際化対応

- ・企画展示を含む手づくり展示については、英語での解説を併記し、国際化への対応に努めた。



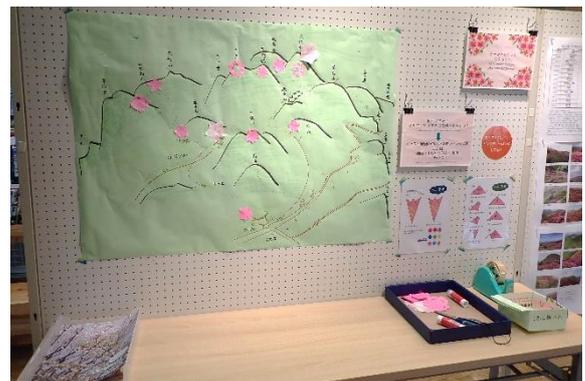
## ② 企画展示

- ・2階フロアなどで広い場所をとって比較的長期間実施する展示である。今年度は季節ごとに次の4回の企画展示を開催した。

展示内容	展示場所	展示期間
くじゅうでお花見	2階	令和5年4月26日～6月26日
くじゅうでCAMP!	2階	令和5年7月12日～9月24日
往復2時間で楽しめる!紅葉ハイキング	2階	令和5年10月6日～12月10日
2023を振り返る写真展・ビジターセンター職員が選ぶベストショット	2階	令和5年12月20日～6年3月31日

## くじゅうでお花見

実施期間：令和5年4月～令和5年6月



「くじゅうでお花見」と題し、くじゅうで見ることができるサクラソウやヤマザクラ、ミヤマキリシマの特徴や見るときのポイント、昔の花見のようすなど盛りだくさんな内容を、多くの写真と一緒に展示した。また、くじゅう連山でミヤマキリシマが咲く場所や見たことがある場所に、折り紙で作った花を貼るワークテーブルも展示の中で、子どもから大人まで楽しめる企画展となった。

## くじゅうでCAMP!

実施期間：令和5年7月～令和5年9月



くじゅうのキャンプ場の紹介や歴史・ルールについて、写真を多く用いながら掲示した。おすすめのキャンプ場を地図に書き込むことができる来館者参加型のコーナーも設けられており、くじゅうにキャンプに来た方々のおすすめのキャンプ場について知ることができる展示となっている。また、キャンプ場のホームページのQRコードも貼っており、各サイトへアクセスしやすくなるよう工夫した。

## 往復2時間で楽しめる！紅葉ハイキング

実施期間：令和5年10月～令和5年12月



くじゅう連山の往復2時間程度で楽しむことができる紅葉のショートコースを紹介した。長者原・牧ノ戸エリアや男池エリアなど、それぞれエリアごと計9か所のコースを紹介し、美しい紅葉や風景写真・コースの特徴などをまとめた展示を行った。くじゅうだより秋号と連動した企画展となっている。

## 2023を振り返る写真展・ビジターセンター職員が選ぶベストショット・

実施期間：令和5年12月～令和6年3月



2023年の1年間で撮ったくじゅう地区の写真の中から、職員が厳選したベストショットを展示した。各月2枚ずつを選び、職員によるコメントと英語訳も載せて紹介した。来館者が気に入った写真にシールを貼って投票する参加型の企画展とし、風景や生き物の写真を通して、くじゅうの四季の移り変わりや豊かな自然を楽しんでいるようだった。増加傾向にある海外の来館者も展示をじっくり見ている様子が伺えた。

### ③ 自然ふれあい・解説事業

#### タデ原の自然観察会

- ・「九重の自然を守る会」の会員がボランティアガイドをおこなう。参加費は無料。
- ・令和5年度の自然観察会開催回数は51回、参加者数は延べ640人であった。春～秋にかけての学校や一般団体など団体での利用が増え、近年では令和元年度に次ぐ参加者数となった。



自然観察会参加者数（令和元年度～令和5年度） ※斜線の月は中止

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
令和5年度	12	130	162	74	44	39	145	25	1	2	5	1	640
令和4年度	10	61	14	33	33	19	79	31	0	2	3	7	292
令和3年度	29	46	16	34	22	44	41	38	137	4	0	12	423
令和2年度	/	/	/	13	48	32	74	52	2	0	3	4	228
令和元年度	78	103	33	151	142	51	139	21	8	5	70	/	801

#### 夜のタデ原さんぽ～月明かりにひそむ森の動物たち～

- ・閉館時間以降の夜間のイベントを企画し、「夜のタデ原さんぽ」として開催した。
- ・第1回 8月26日（土）19：30～21：00  
一般参加者18名、案内：ビジターセンター職員・くじゅうネイチャーガイドクラブ
- 第2回 9月2日（土）19：30～21：00  
一般参加者19名、案内：ビジターセンター職員・くじゅうネイチャーガイドクラブ
- ・環境省から受託した「サステナブルツアー検討業務」のモデルツアーとして、昨年に引き続き開催した。天候に左右されない内容である野生動物を中心にイベントを進め、植物やくじゅうの文化など幅広いトピックを解説した。参加者アンケートでは概ね高評価をいただくことができた。



## 国立公園レクチャー

- ・ビジターセンター職員が国立公園やタデ原湿原について解説をおこなう。参加人数等に応じて、15～30分程度のレクチャーを行った。
- ・団体の人数に合わせて、シアタールームや屋外でレクチャーを行った。
- ・国立公園レクチャーの受け入れ回数は15回（前年度比2回減）、利用者延べ514人（前年度比21%減）。



令和5年度 国立公園レクチャー一覧

開催日	団体名	参加者（人）
4月 16日	APU（立命館アジア太平洋大学）	190
5月 11日	日田市立大山中学校	33
5月 25日	津久見市立津久見小学校	28
6月 2日	日田市立いつま小学校	12
6月 23日	由布市立湯布院中学校	58
7月 12日	日出町立日出小学校	46
9月 5日	龍谷大学	30
10月 5日	豊後大野市立清川中学校	17
10月 17日	別府市立南立石小学校	46
10月 19日	九重町立南山田小学校	18
11月 25日	伊藤園株式会社	12
12月 8日	OAB 朝日放送環境省モニターツアー	10
2月 5日	九重町立南山田小学校	7
2月 7日	九重町立飯田小学校	10
3月 31日	九重町飯田小学校	9
合計（のべ）	15 団体	526

## 視察研修対応

- ・行政機関をはじめとする関係者の視察等を随時受け入れ、職員が館内展示や阿蘇くじゅう国立公園、タデ原湿原の自然環境などについて解説をおこなった。
- ・令和5年度の受け入れ回数は2回、利用者数は延べ12名と、前年度（3回、18名）とほぼ同じであった。



令和5年度視察研修受け入れ事業一覧

開催日時	団体名	参加者（人）
4月27日	阿蘇山上ビジターセンター	4
12月14日	アルハンガイ県（モンゴル）視察団	8
合計	2 団体	12

④ 館内維持管理業務

- ・ビジターセンター館内は、朝または夕方にゴミ拾い、床のモップがけ、館内トイレ清掃、展示のタッチパネルやエレベーターのボタンなどのアルコール消毒を毎日実施した。
- ・清掃業者による特別清掃（ワックスがけ等）を2月に実施した。



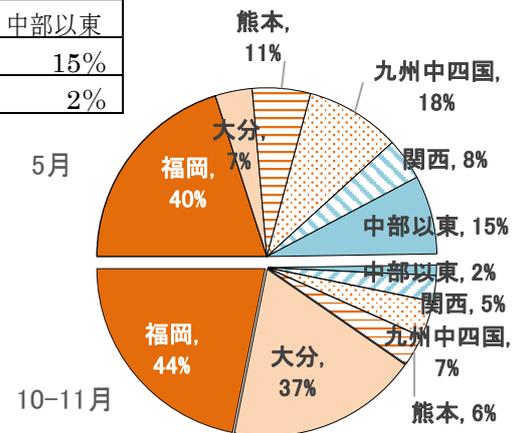
### 3. 来館者アンケート結果

来館者アンケートを2024年4月27日～5月7日(回答数84)と10月27日～11月5日(回答数106)の2回実施し、期間入館者数14,000名の約1.2%にあたる190名から回答を得た。

#### (1) 回答者について【右図参照】

	福岡県	大分県	熊本県	九州中四国	関西	中部以東
5月	40%	7%	11%	18%	8%	15%
10-11月	44%	37%	6%	7%	5%	2%

	20歳未満	20歳～39歳	40歳～59歳	60歳以上
5月	15%	6%	46%	32%
10-11月	11%	11%	29%	48%



#### (2) 来館回数

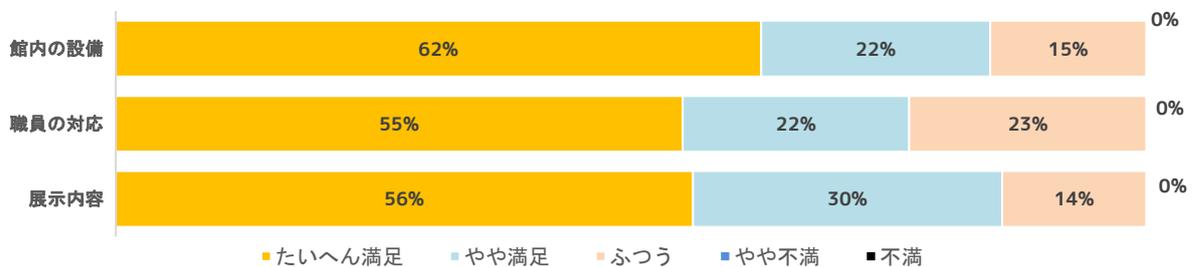
	はじめて	2～3回目	4～5回目	6回以上
5月	43%	24%	10%	23%
10-11月	31%	16%	19%	34%

#### (3) 長者原を訪れた目的【複数回答】

	タデ原の散策	登山	ビジターセンター	偶然通りがかった	ツアーの一部	その他
5月	42%	28%	23%	14%	0%	8%
10-11月	63%	24%	6%	10%	0%	9%

#### (4) 満足度について (5月・10-11月合算)【下図参照】

	たいへん満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満
展示内容	62%	22%	15%	0%	0%
職員の対応	55%	22%	23%	0%	0%
館内の設備	56%	30%	14%	0%	0%



#### (7) 知りたい情報について (5月)【複数回答】(上位のもののみ)

花と植物	登山情報	動物	自然を守る活動	火山情報	歴史と文化	温泉情報
72%	41%	37%	28%	22%	20%	18%

#### (8) よかった展示について (5月)【複数回答】(表は上位のもののみ)

2F 展望室	2F 自然写真館	2F 登山情報	1F 野焼き映像	1F 衛星写真	2F くじゅうでお花見
60%	43%	41%	39%	34%	33%
1F タデ原情報	2F ハイビジョンシアター	2F 守る活動	1F くじゅうのミヤマキリシマ	1F 山菜	1F 昭和16年の地図
28%	25%	24%	21%	20%	17%

#### (10月) \*選択式ではなく記述式での回答に変更

生物の説明/1Fの秋にちなんだ展示/野焼きビデオ/足跡探し/情報をたくさんまとめてくださり面白かったです/紅葉ハイキング/写真がきれい/ハイビジョンシアター/映像で詳しく理解できた/もみじの種/紅葉の写真と木々の紹介/スタンプラリー/展示がいつもわかりやすくいつみても新しい情報が教えてもらえる/キッズコーナー/生物の説明

(9) 回答者のコメント（抽象的なもの・重複した内容のものは省略、下線は要望・改善点等）

【館内展示・企画】

色々なものが分かりやすく展示されている / ミヤマキリシマについて詳しく展示していた / 植物や登山の情報が多くて充実している / 季節によって花など説明があつておもしろい / 歩いてきた後だったので答え合わせのようで良い / 改善点はないけれど山々の風景がみれるからいいと思います / 明るくミヤマキリシマのパネルが大変よかった / テーマごとの展示が楽しみで、アットホーム感があるので大好き / ヒミズの剥製に特に子供が驚いていました / スポットを大きな地図、地形図で書いてあるといい / 鳥の鳴き声の展示など触って体感できるものがわかりやすい / 子供が手に触れて楽しめる展示がもっとあればよいと思う / くじゅうの美しさがわかります / 最新でとられたタデ原周辺の動物の写真を玄関に掲示してもらいたいです / いつも展示をきれいにされていて、見るのが楽しみです。ありがとうございます / 子ども達目線の展示が多く孫が落ち着いてゆっくりと楽しむことができていました。ありがとうございました / いつも面白い展示をありがとうございます。季節ごとに楽しみにしています / ビジターセンターのスタンプラリー、クイズラリーを毎回子供が楽しんでます / スタンプラリーが子どもにとってすごく楽しくてよい / 楽しい物が多くて満足でした / 雨の日でもスタンプラリーで楽しめてよかったです

【情報提供・職員対応】

優しく色々教えていただきました / 聞くと丁寧に教えてくれる / お尋ねした時丁寧に対応してくださるので / 自分たちが話しているときに声掛けをしてくれるから / はたで聞いていただけど親切、丁寧でした / いうことなし、もう最高 / 情報をたくさんまとめてくださり面白かったです / やさしい / ていねいに道案内をおしえてくれた / いつも笑顔 / 子供に対しても敬語をつかってくれた / 笑顔がよい / 声かけしてくれた / 接客態度がよかった / 親切な説明 / 登る前の情報をえることがよかった / 初めて来たけど周辺の山のことを知ることができ子どもにも伝えやすかった / いつも四季折々の情報ありがとうございます

【設備・施設】

ゆっくりのんびりできる小さくてもいいのでカフェスペースなどがあるといいなと思いました / いつもきれいで、自由に入れる雰囲気がいい / いろいろな風景がいろんな所から楽しめる / 展望室の居心地がよかった / 硫黄山の噴気が見えた / きれい、見晴らしがよくゆっくり座れる / トイレがきれいで嬉しかった / とても清潔 / 静かで居心地がよい / 更衣室が良かった / シューズの洗い場に気づかない人が多い / すばらしい施設で、くじゅうの自然がよくわかります / いつ訪れても大変綺麗です。

【タデ原・周辺施設】

キレイに整備されている / ススキ畑が良い / 昨日は満月がきれいで月夜のタデ原歩きも楽しかったです / 景色がきれいでした / 何度来ても心新たに感動します / 前は夏に湿原散策に来ました。今回は秋の散策に家族で来ましたが紅葉がきれいで気持ちがよかったです / とてもきれいでよかったし湿原も歩いて楽しかったです

【その他・全般】

キツネが見たい / 現在咲いている花の情報が知りたいです / コロナもあけたし、ミニツアーとかもっとしてほしい / 長者原ビジターセンターが好きでこちらへ来た時には必ず寄っています / アンケート項目が多い(5月) / 楽しいことが起きそうな感じがしました / 季節ごとの取り組みに脱帽です / いつもハガキを購入しています。登山が好きだった母へ送っています これからも楽しみにしていますのでよろしくお祈りします / 館内全体が親切さを感じられ満足しております。ありがとうございます / いつ来てもきれいに整えてあり気持ち良く立ち寄らせていただいています

## (10) 分析

### ・来館者について

例年同様、福岡県が最も多く 40%を超えたが、5月は新型コロナウイルスが第5類へと変更になった影響か、大分県内からの来訪者が7%と極端に少なかった。繰り返し来館していただいているリピーターの割合には、大きな変化は見られない。

今回のアンケート回答者の中にツアーでの来館者はいなかった。アンケート協力者には5月にポストカードを10-11月のアンケートではミニ図鑑を配布し、若年者の回答が増加した。アンケートに項目はないが、外国からと思われる来館者も増加している。

### ・展示内容について

「たいへん満足」と「やや満足」を合わせると86%を超え、満足度は高い。しかし、「ふつう」と回答している来館者の増加傾向がみられるため更なる工夫が必要である。

令和5年5月までは良かった展示に記号を付けてもらう方法でアンケートを行っていたが、項目の多さや評価の変化がさほど見られないことから10月からは記入式とした。館内の展示の中では、季節に合わせた展示や子供が楽しめる展示やスタンプラリーやクイズラリーが良いといったコメントをいただいた一方で、さらに手に触れることのできる展示がほしいという意見やスポットを大きな地図や地形図で表示してほしいと求める声も上がったため、見るだけでなく触れる展示や立体地図などを作成するなどの工夫を今後の企画展等で検討していきたい。

### ・職員の対応や設備について

職員の対応についての満足度では、「たいへん満足」が最も多く評価が高いが「ふつう」と回答する来館者も増加している。これまでの対応に加えて積極的な声かけを行い、来館者の印象に残るような接客も必要であるため、研鑽していきたい。

設備についても「たいへん満足」と「やや満足」を合わせると84%を超え、とりわけ展望室とトイレの清潔さを評価する声が高く、展望室をより快適な場所にするとともに、展示や掲示などに一層活用するといいかもしれない。一方、靴洗い場の場所がわかりにくいとの指摘があったため、必要に応じて案内掲示をするなど、わかりやすさや快適さなど改善できる点を確認していきたい。

### ・知りたい情報について

5月では集計を行ったが、アンケート項目が多いとの意見やここ数年は知りたい情報について顕著な変化が見られないことを受け、記述式に変更した。回答内容を展示や情報発信に反映させていきたい。

## II. 教育・普及啓発活動

### 1. 普及啓発活動

#### (1) 遭難事故防止・登山マナー向上活動

##### 牧ノ戸峠 登山ミニレクチャー

開催日時：令和5年6月3日（土）7:00～9:30

令和5年10月28日（土）7:00～9:00

場 所：牧ノ戸峠登山口

- ・公園利用者への適切な利用促進の一環として、くじゅう連山最大の登山口として利用されている牧ノ戸峠登山口において、「登山ミニレクチャー」を実施し、登山者に対する公園利用マナーの普及啓発を行った。
- ・早朝、登山者に向けて登山届の Web 上での提出、服装点検、持ち物確認、登山道の歩き方（植生保護のため）、ゴミの持ち帰り、下山時刻の確認、山のトイレの利用方法など、向上すべきルールやマナーについてマイクを用いて呼びかけた。
- ・今年度も、ミヤマキリシマ開花時期と紅葉の最盛期に実施した。個人や団体・家族連れなど様々な登山客がくじゅうに訪れており、多くの方々に登山届の提出にご協力いただけた。
- ・従来の紙による登山届と併せ、大分県警の HP やアプリ「コンパス」を用いた Web 上での登山届事前提出について普及に努めた。



6月の呼びかけの様子



10月の呼びかけの様子

## (2) 広報活動

### ① くじゅうファンクラブ（くじゅう地区管理運営協議会）ホームページ

令和5年度「最新情報」更新回数：23回

- ・くじゅうファンクラブホームページ上で、くじゅうについての様々な情報提供をおこなった。



↑ホームページ 最新情報ページ

### ② くじゅうファンクラブ フェイスブック

令和5年度投稿回数：81回

- ・くじゅう地区の最新の情報を幅広く提供するとともに、くじゅうに関心を持ってもらうことを目的に、フェイスブックに情報を掲載した。
- ・フォロワーの人数は、年度当初の6,883人から令和6年3月末には7,276人へ約400名増加した。
- ・投稿がタイムラインやシェア・検索などを通じて受け手に表示された数を示す「リーチ数」は、平均すると1回の投稿あたり3,400回であり、合計でのべ28万人に情報が届けられたことになる。リーチ数の最大は7,728回（12月17日、降雪情報）で、次にくじゅう連山の紅葉情報についての記事が上位となった。新型コロナウイルスの規制緩和やインバウンドの増加に伴う海外からの登山者が増えており、ミヤマキリシマや紅葉、冬山時期の投稿にはいいねやコメント、シェアの数が増加傾向にある。
- ・英語のコメントやハッシュタグを併記することで、外国人からの反応も継続的にみられている。



### ③ くじゅうファンクラブ インスタグラム

令和5年度投稿回数：57回

- ・くじゅう地区の美しい写真を通じて、国内外で幅広くくじゅう地区に関心を持ってもらうために、インスタグラムへの投稿を実施した。
- ・今年度も閲覧者が増加すると共に、順調にフォロワー数が1,000人以上増え、3,895人となった。
- ・10月の紅葉の投稿では最大974件の「いいね！」の反応があった。紅葉情報に次いでミヤマキリシマ情報や雪の情報などに多くの反応があり、興味が寄せられているようだった。
- ・英語のハッシュタグをつけるだけでなく、英語でのコメントを併記したことで、外国人利用者からもいいね！やコメント投稿などの反応があった。くじゅうについての認知度を国内外に高めるために役立ったと考えられる。



### ④ くじゅうファンクラブ エックス (旧ツイッター)

令和5年1月より毎朝投稿

- ・くじゅう地域の最新情報を毎日利用者に提供するために、令和5年1月よりツイッターへの投稿を開始した。
- ・令和4年度3月末のフォロワーは175人、現在は887人と順調にフォロワー数が伸びている。
- ・6月17日の投稿では、ツイッターで表示された回数を示すインプレッション数が最大57,272となった。



## ⑤自然情報の提供

- ・植物の開花や紅葉の進み具合を調べ、「自然情報」として館内に掲示するとともに、メーリングリスト登録者および近隣の観光案内所や施設に随時配布した。
- ・令和5年度作成した自然情報は次の通りである。  
タデ原自然情報：4～10月に月2回、計13回  
ミヤマキリシマ開花情報：5～6月に7回  
紅葉情報：10～11月に7回  
マンサク開花情報：3月に3回
- ・タデ原やくじゅう連山を訪れる人にとって役に立つ情報源となっている。今後もきめ細かな情報提供を心掛けながら継続していきたい。

**タデ原湿原 自然情報【2023/8/14】**

ハンカイソウの真ごろが終わり、雨やかだった草原では秋の花が咲き始め、薄ら着いた涼風をまとっています。透明色に染まったヒゴダイが花開き、サイヨウシャジンやコバギボウシなど、ススキの間から色々な花が静やかな麗さをのぞかせています。



↑ 8月14日 **タデ原湿原**  
気持ちの良い夏晴れです。



↑ 8月14日 **ヒゴダイ**  
かつては盆花として親しまれていました。



↑ 8月14日 **サイヨウシャジン**  
釣鐘状の小さな花です。



↑ 8月14日 **シラヒゲソウ**  
ススキの間にひっそりと咲いていました。



↑ 8月14日 **コオニユリ**  
よく観察すると斑点は突起状になっています。



↑ 8月14日 **コウライトモエソウ**  
花弁がよじれ巴（トモエ）状となるのが特徴です。

令和5年6月9日  
作成：くじゅう地区管理運営協議会（くじゅうアソククラ）

**ミヤマキリシマ開花情報（Vol.5）**

調査日	場所	開花状態
6月5日	空池周辺 (1700m付近)	見ごろ
6月7日	三俣山 (1744m)	7～8分咲き
6月7日	平治岳 (1643m)	見ごろ
6月9日	星生山 (1762m)	3～4分咲き
6月9日	扇ヶ鼻 (1698m)	3～4分咲き
6月9日	北大船山 (1706m)	見ごろ

今年も中岳、久住山、平治岳など複数の山で虫害が確認されましたが、虫害はあまり見かけなくなり、残った蕾が頑張って花を咲かせています！平治岳では虫害が多く、山頂では2～3割ほどの開花と例年に比べると花が少なく感じるかもしれませんが、今が見ごろとなっています。三俣本峰の周辺ではまだつぼみが多く、斜面に咲いた美しいミヤマキリシマが迎えてくれますよ！星生山は長者原や西千重ヶ原から見上げると、中岳がピンクで染まった山頂を見ることが出来ますが、山頂付近はあまり開花しないままだとピークを迎えそうです。扇ヶ鼻は中腹あたりがきれいに咲いています。また、北大船山は虫害も少なく、ピークを迎えてもキレイに咲いています。郭峠岳ではミヤマキリシマのピークは過ぎましたが、オヤマレンゲが少しずつ開花しています。雨が続きそうですが、晴れ間を見つけてこの時期ならではのいろいろな花を楽しんでください！



6/7 三俣山



6/7 平治岳



6/7 星生山



6/7 扇ヶ鼻



タデ原湿原やくじゅう連山の最新情報については、SNSでも配信の中  
<https://www.facebook.com/choujabaruvisitor>  
[https://www.instagram.com/choujabaru\\_visitorcenter/](https://www.instagram.com/choujabaru_visitorcenter/)

## ⑥「くじゅうだより」の発行

- ・くじゅうの自然をより深く理解してもらうことを目的に、年4回発行した。ビジターセンター内で配布するほか、くじゅう地区管理運営協議会の各会員施設でも配布した。
- ・登山コースの紹介や季節ごとのお勧め周辺スポット紹介や、企画展と連携した植物紹介を行った。









## 2. 環境教育活動

### (1) チームタデ原～ヒゴタイ子を守る会～

- ・平成27年度にくじゅう地域で開催されたKODOMOラムサールをきっかけに、地元の小中学生で結成された自然保護活動グループ。令和5年度のメンバーは小学生6名中学生2名の合計8名であった（今年度2名加入）。
- ・子どもが主体となった活動グループを目標とし、子どもたち自身で活動を計画・実行し、振り返りをおこなっている。その活動のサポートを当協議会がおこなった。
- ・今年度は新型コロナウイルス感染症が第5類に移行されたことを受け、3年ぶりに宿泊学習を再開し佐賀県東よか干潟との交流会を実施した。

令和5年度 「チームタデ原～ヒゴタイ子を守る会～」活動一覧

開催日	概要	参加者（人） ※スタッフ含む
4月23日	猪の瀬戸湿原観察会	13
6月17日	タデ原半周と指山湧水探索	13
8月19・20日	泉水キャンプ・東よか干潟交流会	13
9月23日	草こづみづくり	11
11月12日	草運び・動画作り	10
11月19日	飯田高原文化祭	9
1月6日	動画作り（有志）	7
2月23日	阿蘇草原学習	13
3月31日	野焼き見学	10



猪の瀬戸湿原



東よか干潟交流会



草こづみ作り



野焼き活動

## (2) 総合学習支援活動

協議会の会員である九重町・竹田市・由布市内の小中学校からの、総合学習の支援をおこなっている。九重町立飯田小学校では、総合学習で各学年ともタデ原湿原について学んでおり、今年度も講師の派遣やガイドの支援などを実施した。

### 九重町立飯田小学校 6年生

- ・7月22日、29日（10名）
- ・タデ原湿原の成り立ちや湿原の保護、希少な動植物について学び、自分なりにまとめ、来場者に伝える「キッズガイド」を実施するための学習支援を2日間行った。



### 九重町立南山田小学校 5年生

- ・2月5日（5名）
- ・レクチャーとハイビジョンシアターでタデ原について学び、その成り立ちや歴史について職員が解説した後、実際にタデ原を散策しながら地形や自然について学習した。



### 九重町立飯田小学校 3年生

- ・2月7日（10名）
- ・総合学習の中で飯田高原の自慢を見つけるため、ビジターセンター館内よびタデ原湿原を探検して自慢となるものを探した。ビジターセンター職員、ボランティアが解説を行い、館内やタデ原湿原でタブレットを使用し、まとめ学習を行った。

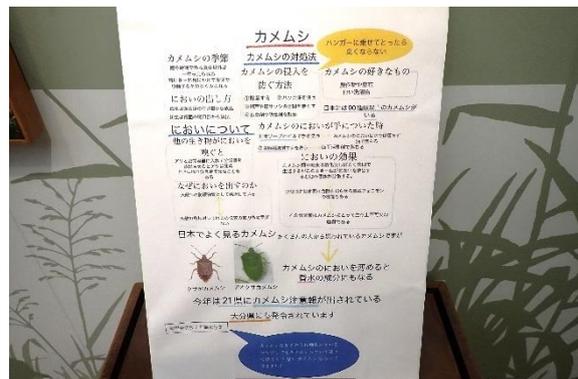


### 九重町立このえ緑陽中学校 3年生

- ・10月27・28日（1名）
- ・職場体験学習を受け入れた。ビジターセンターで受付や自然情報収集、ゴミ拾い、ハンズオン展示の作成を行った。



ハンズオン展示の準備



カメムシについて展示作成

### Ⅲ. 自然環境保全・調査活動

#### 1. 自然環境保全活動

##### (1) 外来種等駆除活動

タデ原湿原とその周辺には特定外来生物であるオオハンゴンソウが生育しており、その他にも数種の外来植物が生育している。今年もくじゅう地区管理運営協議会の会員等と連携しながら、タデ原湿原と飯田高原周辺におけるオオハンゴンソウ駆除活動を支援した。



実施日	内容・場所	主催団体	支援内容
7月24日	オオハンゴンソウ駆除・やまなみ沿線	九重の自然を守る会・イオングループ	職員参加・用具貸出
7月27日	オオハンゴンソウ駆除・やまなみ沿線	九重の自然を守る会	用具貸出
8月19日	オオハンゴンソウ駆除・やまなみ沿線	九重の自然を守る会	用具貸出
8月31日	オオハンゴンソウ駆除・やまなみ沿線	飯田地区まちづくり協議会	用具貸出
9月24日	オオハンゴンソウ駆除・タデ原	九重の自然を守る会	職員参加・用具貸出
10月21日	オオハンゴンソウ駆除・笹ヶ台入口	飯田地区まちづくり協議会	用具貸出
10月22日	オオハンゴンソウ駆除・タデ原	九重の自然を守る会	用具貸出
10月29日	オオハンゴンソウ駆除・タデ原	九重の自然を守る会	用具貸出
11月5日	オオハンゴンソウ駆除・タデ原	九重の自然を守る会	用具貸出

##### (2) 美化清掃活動

7月27日に開催された自然公園クリーン作戦（九重町・環境省主催）に職員が参加するとともに、道具の貸し出しや軍手・お茶の提供をおこない、環境美化に協力した。

9月23日に実施されたやまなみハイウェイ美化清掃活動（つながるひろがるやまなみハイウェイ実行委員会主催、道守九州会議ほか協力）に職員が参加し、瀬の本から長者原までの美化活動を行った。

11月2日に大分県主催「山のトイレをキレイに使い隊運動」に職員が参加し、久住分かれに設置されている山岳トイレの美化清掃活動への協力を呼び掛けた。

これらの行事やイベントのほか、登山道巡視や自然情報収集活動の際に日常的にゴミを拾うなど、くじゅう連山と周辺の美化清掃活動に取り組んだ。



##### (3) 野焼き活動

くじゅう地区では、草原景観の維持と希少種の保護などを目的に各地で野焼きが実施されている。今年度も野焼きを行う各団体と連携しながら、防火帯の作成、野焼きの作業、用具の貸出などを通じて野焼き活動を支援した。消火用具（ジェットシューター）を地域の野焼きや防火帯焼きに合計7回貸し出したほか、次項の表に示した活動については職員も参加して消火活動などの作業にあたりるとともに、飲料と軽食の提供もおこなった。

実施日	内容	場所	主催団体	支援内容
4月2日	野焼き	大將軍・やまなみ沿線	飯田高原野焼き実行委員会	職員参加・飲食提供
9月12日	防火帯切り	タデ原外周	飯田高原公私隊	職員参加
10月11日	防火帯焼き	タデ原外周	飯田高原公私隊	職員参加
11月14日	防火帯切り	タデ原西	環境省くじゅう管理官事務所	職員参加
3月2日	野焼き	沢水キャンプ場周辺	竹田市	職員参加・飲食提供
3月10日	野焼き	大將軍・やまなみ沿線	飯田高原野焼き実行委員会	職員参加・飲食提供
3月31日	野焼き	泉水山・タデ原	飯田高原野焼き実行委員会	職員参加・飲食提供



## 2. 調査活動

### (1) モニタリングサイト 1000 里地調査

環境省のモニタリングサイト 1000 里地調査の調査地として登録されているタデ原湿原（九重町）と沢水キャンプ場周辺（竹田市久住町）において、植物のフェノロジー調査（3月～11月に毎月1回実施）にそれぞれ職員が参加するなどして協力した。



### (2) 長者原地区植物保全協議会

大分県のやまなみハイウェイ歩道拡幅工事に伴う長者原地区植物保全協議会に、2017年度より委員として職員が参加している。今年度も、やまなみハイウェイ沿線の植物調査及び工事方法について検討する会議に次の通り出席し、調査等を行った。

第23回協議会（5月29日）

第24回協議会（7月31日）

法面伐採跡の植生モニタリング（9月28日）

希少種の移植作業（10月18日）

第25回協議会（2月19日）



### (3) 希少種の調査・保全

環境省が開催する生態系維持回復事業検討会議に出席し、タデ原湿原における希少種保全の体制づくりに協力した。また、信州大学緑地生態学研究室と協力してタデ原湿原のシカ対策について検討のうえ、植生保護柵の資材を購入・提供し、今後設置を予定している。併せて、その効果検証と植生調査を実施し、保全の取り組みに協力していく。

## IV. 登山道等管理活動

### 1. 登山道保全活動

#### (1) 登山道保全活動（主催事業）

- ・ 玖珠美山高校との登山道保全整備活動（長者原～スガモリ越間）

くじゅう地区管理運営協議会会員と協力し、玖珠美山高校地域産業科 3 年生 24 名と、長者原～スガモリ越間の登山道保全整備活動を行った。

日時：11 月 6 日（水）9:30～12:30

内容：登山道の土留め修繕、石詰め作業、水切り等の担当に分かれ、会員が作業指導を行った。

参加した当協議会会員及び関係者と人数：環境省くじゅう管理官事務所 3、大分西部森林管理署 6、大分県 2、竹田市 2、玖珠警察署 1、九重の自然を守る会 6、くじゅうネイチャーガイドクラブ 3、ビジターセンター 3（計 26 名）



#### (2) 登山道保全活動（正会員活動助成事業）

- ・ 当協議会の正会員活動助成事業として、以下の登山道保全活動の助成を行った。

ア 赤川～扇ヶ鼻の草刈り

実施者：NPO 法人久住高原みちくさ案内人倶楽部

日時：9 月 29 日

内容：ススキ類が繁茂しこの区間の登山道で道迷いや遭難事故が続発したことから、草刈りを実施したもの。

助成金額：100,000 円



イ 黒岩山・泉水山草刈り作業

実施者：NPO 法人くじゅうネイチャーガイドクラブ

日時：10月7日

内容：登山道の草刈り、支障木の枝打ち

助成金額：160,000円



ウ 指山登山道山頂付近の草刈り・登山道補修作業

実施者：NPO 法人くじゅうネイチャーガイドクラブ

日時：10月12日、10月15日、11月12日

内容：指山登山道の山頂付近の草刈り、枝払い、登山道補修

助成金額：130,000円



エ 坊原登山道草刈り・登山道補修作業

実施者：NPO 法人くじゅうネイチャーガイドクラブ

日時：10月8日、11月12日

内容：登山道の草刈り、支障木の枝打ち、登山道補修

助成金額：120,000円



### (3) 道標交換

- ・遭難事故が多発している箇所へ2基の看板設置と、登山道の老朽化している道標1基の交換を行った。

本年度設置した看板及び道標は次の通り。交換の際にはいずれもローマ字表記を併記し、外国人登山者にもわかりやすくなるようにした。設置は正会員に委託をして実施した。

ア 看板：疥癬湯登山道分岐<民有地（共有地）上>（疥癬湯・筋湯、涌蓋山）×2基

設置：九重の自然を守る会

イ 道標：御池東<環境省執行路線上>（中岳・天狗ヶ城、避難小屋、久住分れ（御池沿い、増水時迂回路））

設置：NPO 法人くじゅうネイチャーガイドクラブ倶楽部



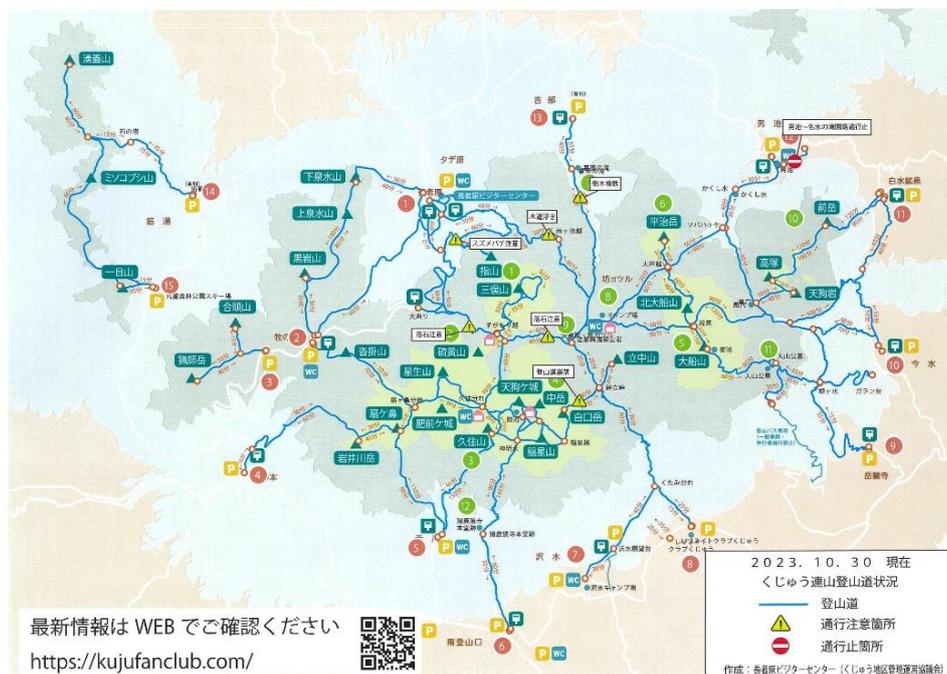
ア：疥癬湯登山道分岐の看板



イ：御池東の道標

### (4) 登山道等についての情報収集・情報提供

- ・環境省と大分県から管理路線の巡視業務を受託し、仕様書に基づいて巡視を実施した。
- ・タダ原木道を随時巡回し、異常箇所がないかどうか確認するとともに、ごみ拾いを行った。
- ・登山者から寄せられた登山道についての情報を集約し、環境省、林野庁、大分県等の関係機関に提供した。
- ・大船山登山道上のスズメバチの巣については、安全のため環境省・竹田市によるパトロールや注意喚起の看板の設置に協力した。
- ・登山道の状況については、一般の登山者などから主に電話で多くの問い合わせがあり、これらについても丁寧な対応を心掛けた。また利用者へ向けて随時ホームページやSNSで情報発信を行った。



長者原ビジターセンターホームページでの登山道情報発信の例

## 2. 長者原周辺の美化清掃活動

### (1) 公衆トイレ清掃・園地清掃業務

- ・環境省から長者原地区にある2つの公衆トイレ及び長者原園地の清掃業務を受託し、仕様書に基づき清掃を行った。

#### ア 公衆トイレ清掃

- ・ミヤマキリシマの時期・夏休み中・紅葉の時期などには1日に2回点検や清掃を行うなど対応を強化し、常に清潔なトイレが保たれるよう努めた。
- ・ドアノブ・便座・カラン等のアルコール消毒を行った。

#### イ 園地清掃等

- ・長者原園地・駐車場及びその周辺において、ゴミ拾い等の清掃活動を随時実施した。
- ・長者原園地では落ち葉清掃を行った。



### (2) その他園地・駐車場管理業務等

- ・積雪期には利用者の安全を確保するためビジターセンター前の除雪を行った他、駐車場の白線が見えなくなるため通路にコーンを設置して利用者の混乱を防いだ。
- ・各登山口においては、管理者による管理を補助する形で、随時ゴミ拾いを行った。
- ・タデ原周辺の自然歩道脇の草刈り、ビジターセンター周辺の防火線切りを実施した。



### (3) タデ原木道の保守業務

- ・3月末に実施されるタデ原の野焼きに備え、タデ原木道が延焼しないよう、環境省の仕様書に基づき11月15日、20日に木道の周囲の防火線切りおよび草寄せの作業を行った。





## 2. 職員研修実績

### (1) ファシリテーション研修

開催日時：令和5年4月23日 参加者：柳井

概要：会議の進行の心構えや構成など、ファシリテーションの基本についての講義を受講。

### (2) 防火管理者講習会

開催日時：令和5年6月22～23日 参加者：竹菴

概要：甲種防火管理者資格取得講習会を受講。

### (3) 夜のタデ原イベント研修

開催日時：令和5年7月8日 参加者：種村、竹菴、柳井、又吉

概要：野生動物専門家による夜のタデ原の野生動物の調査方法とイベント素材の収集についての講義を受講。

### (4) 刈払機取扱作業安全衛生教育研修

開催日時：令和5年7月12日 参加者：柳井

概要：刈払機の取り扱いができるよう、労働安全衛生法に基づく講習会を受講。

### (5) ユースラムサークル in 琵琶湖、琵琶湖博物館研修

開催日時：令和5年7月15～18日 参加者：竹菴

概要：ユースラムサークル交流事業にて子どもたちへの動画作成の指導方法を学ぶとともに、琵琶湖博物館の展示手法について学んだ。

### (6) 九重町観光案内研修

開催日時：令和5年7月21日 参加者：柳井・木村・甲斐

概要：九重町が運営する長者原ビジターセンター観光案内所と合併したことをうけて、町内の観光地の解説に協力できるよう、商工観光課職員による案内をうけた。

### (7) 野焼き支援ボランティア研修

開催日時：令和5年7月30日 参加者：柳井

概要：阿蘇グリーンストックが開催する野焼き支援ボランティア研修に参加し、野焼き参加時の注意点や心構えなどについて学んだ。

### (8) ファシリテーション研修

開催日時：令和5年8月6日 参加者：竹菴

概要：会議の進行の心構えや構成など、ファシリテーションの基本についての講義を受講。

### (9) ビジターセンター展示研修

開催日時：令和5年8月31日 参加者：柳井

概要：阿蘇山上ビジターセンターと南阿蘇ビジターセンターを訪れ、展示手法や案内方法について学んだ。

- (10) 自然観察指導員研修  
開催日時：令和5年11月25～26日 参加者：竹菴  
概要：自然解説の技法を学ぶため日本自然保護協会が開催する、自然観察指導員研修を受講。
- (11) 環境省主催近自然工法による登山道整備研修  
開催日時：令和5年11月27～30日 参加者：竹菴・柳井・又吉  
概要：環境省主催の近自然工法による登山道整備講習会に参加。
- (12) 九州管内ビジターセンター運営研修（えびの、重富、桜島）  
開催日時：令和5年12月12～14日 参加者：柳井・又吉  
概要：各ビジターセンターの先進的な運営方法について学ぶとともに、えびのでは特にシカ対策について学んだ。
- (13) コングラント操作説明会  
開催日時：令和5年12月22日、令和6年1月5日、12日 参加者：種村、竹菴、柳井、又吉  
概要：第3回幹事会で導入が決定した、賛助会員・寄付金決裁サイト「コングラント」の操作説明会に参加。
- (14) 甲種防火管理者講習会 参加者：柳井  
開催日時：令和6年2月20日～21日  
概要：甲種防火管理者資格取得講習会を受講。
- (15) 野焼き講習会  
開催日時：令和6年3月2日 参加者：柳井  
概要：飯田高原野焼き実行委員会主催の野焼き講習会に参加。

夜の森でヒコタイを観察する参加者 九重町



## 動物の鳴き声 耳澄ませ

【九重】標高1000以上の九重町・飯田高原に広がる夕テ原湿原で26日夜、夜の夕テ原さんぽがあった。日中の爽やかな高原とはひと味違う雰囲気を楽しむでもらおうと、阿蘇くじゅう国立公園長者原ヒジターセンターが昨夏に続いて企画した。約20人が参加。ランタンの灯を頼りに夜の森に入った。「月明かりにひそむ森の生きものを感じよう」をテーマにおよそ1時間半、森の中や湿原に設けられた木道を散策。人間を警戒したのか生き物は現れなかったが、動物の足跡やふんなど「フールドサイン」を探しながら

### 九重 夜の夕テ原湿原で散策

歩き、遠くから時折聞こえるシカの鳴き声に耳を澄ませた。福岡市西区から家族で来た花元美紅さん10、俊介君8のきょうだいは「動物が好き。鳴き声を聞きながら歩いたので楽しかった」。

9月2日にも同様の内容で実施予定。同センターは「夜の湿原の散策というなかなかできない経験を楽しみ、環境を守っていく取り組みへの理解を深めてもらいたい」と話した。

イベント参加費の一部は「環境保全協力金」として、くじゅう地域の野焼き活動などに活用する。(宮家大輔)

← 大分合同新聞

令和5年9月1日(金)

## 子どもら「草こづみ」作り

### 飯田高原の暮らし学ぶ

九重町

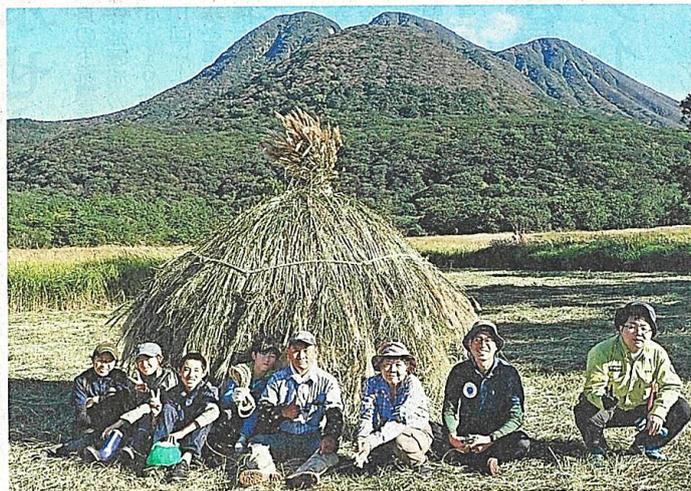
【九重】九重町飯田地区に広がる夕テ原湿原で24日、冬場の牛の餌となる「草こづみ」作りがあった。かつては飯田高原一帯で作られていたが、畜産農家の減少に伴って衰退。湿原の環境や生態系の保護などに子どもたちが取り組む「チーム夕テ原」の活動の一環で、2020年に復活させた。

草こづみは「草を小さく積んだ」もの。両腕で抱えられる量の草を「1把」とし、牛1頭が1度に背負える6把を「1駄」と数える。同高原では10駄で一つのこづみを作っていた。

今回はチーム夕テ原の3人が参加。約800平方分の草を使い、5駄のこづみを作った。草は水分を含んだ状態のため、「重くて

抱えるのが大変」と子どもたち。丁寧に積み上げ、スキヤカヤで屋根を作って仕上げた。11月中旬まで乾燥させ、町内の畜産農家に

届けることにしている。指導した九重ふるさと自然学校(町内田野)の指原孝治さん(40)は「昔の人が草原という向き合ってきたかを知る機会になった。牛が草を食べ、堆肥で野菜が育つ循環も学べたと思う。草こづみのある風景を多くの人に知ってもらいたい」と話した。(宮家大輔)



草こづみを作ったチーム夕テ原の子どもら 九重町

大分合同新聞 →

令和5年9月30日(土)

## 4. 地域の概要

阿蘇くじゅう国立公園は、九州のほぼ中央に位置し、周囲約 100km に及ぶ世界最大級の阿蘇のカルデラ地形と、その北東部に連なるくじゅう火山群、由布岳、鶴見岳からなる、火山地形と草原景観が特徴的な国立公園である。その中でも、くじゅう地域は「九州の屋根」とも呼ばれ、1,700 m 級の峰が連なり、初夏はミヤマキリシマの花、秋は紅葉で山々が彩られる。また、山間の坊ガツル湿原・タデ原湿原は、国際的に重要な湿地としてラムサール条約に登録されており、山麓の飯田高原・久住高原などの広大な高原と並び、湿地性・草原性の多様な草花や野鳥・昆虫など多くの動植物の貴重な生育場所となっている。

長者原ビジターセンターは、通称「やまなみハイウェイ」と呼ばれる、阿蘇と別府をつなぐ県道 11 号線沿いの大分県九重町長者原地区にあり、くじゅう地域の拠点施設として利用されている。センターの眼前にはタデ原湿原が広がり、設置された木道を歩くと、四季折々の自然を肌で感じることができる。



くじゅう連山（ミヤマキリシマ開花期）



タデ原湿原

### 【位置図】



阿蘇くじゅう国立公園

指定：1934年（昭和9年）

公園面積：72,678ha（くじゅう地域 18,310 ha）

## 5. 運営体制

### 事務局

九重町役場 商工観光・自然環境課内

### 事務局員

種村 英大（事務局長）

竹菴 明日香

柳井 理子

又吉 真鈴

九重町商工観光課自然環境グループ

藤原 征治

帆足 ちひろ

### くじゅう地区管理運営協議会の構成

環境省、大分森林管理署、大分西部森林管理署、大分県、九重町、竹田市、由布市、九重・飯田高原観光協会、筋湯温泉観光協会、釜ノ口温泉観光協会、NPO 法人竹田市観光ツーリズム協会、やまなみ観光株式会社(レストハウスやまなみ)、有限会社法華院温泉(法華院温泉山荘・法華院温泉高原テラス)、九重森林公園株式会社(九重森林公園スキー場)、九重の自然を守る会、有限会社星生温泉(九重星生ホテル)、一般財団法人セブーン・イレブン記念財団(九重ふるさと自然学校)、NPO 法人久住高原みちくさ案内人倶楽部、NPO 法人くじゅうネイチャーガイドクラブ、株式会社牧の戸(牧ノ戸峠レストハウス)、寒の地獄株式会社(寒の地獄旅館)、株式会社まきのとコーポレーション(九重観光ホテル)、飯田高原観光株式会社(長者原ヘルスセンター)、有限会社みやま商店(モンベルルーム くじゅう長者原店)、株式会社エルランチョ・グランデ、大分県農業協同組合(飯田高原ドライブイン)、有限会社くじゅう倶楽部、九重ヒュッテ、大分県立九重青少年の家、飯田高原デザイン会議、株式会社橋本建設、株式会社ア・マ・ファソン(オーベルジュ・ア・マ・ファソン)、株式会社星野リゾート(界 阿蘇)、有限会社吉武建設(くじゅうやまなみキャンプ村)、株式会社レゾネイト(レゾネイトクラブくじゅう)、公益財団法人九電みらい財団、一般財団法人 TAO 文化振興財団(TAO の丘)、くじゅう地区パークボランティアの会、有限会社スパ・グリネス (スパ・グリネス)、このえまち総合サービス株式会社、ラフクリエーション株式会社 (天空の大地久住高原ホテル)、温泉コスメティック株式会社 (赤川温泉赤川荘)、くじゅうビバレッジ株式会社

(敬称略・順不同)

### くじゅう地区管理運営協議会賛助会員

九州電力株式会社 (八丁原発電所)、九州林産株式会社林業部、大分県高等学校体育連盟登山専門部、福岡県高等学校体育連盟野外活動専門部、福岡県中学校体育連盟野外活動部、九重町観光協会、駒木小児科クリニック

(個人会員を除く、敬称略・順不同)





くじゅう地区管理運営協議会(くじゅうファンクラブ)

【事務局】九重町役場商工観光・自然環境課

【事務所】長者原ビジターセンター

【所在地】〒879-4911

大分県玖珠郡九重町大字田野 255-33

【電話】0973-79-2154

【ホームページ】<http://kujufanclub.com/>

【Facebook ページ】<http://www.facebook.com/choujabaruvisitor/>

長者原ビジターセンター

【住所・電話】上記に同じ

【開館時間】9:00~16:00 (5~10月は9:00~17:00)

【休館日】年末年始(12月29日~1月3日)のみ

【入館料】無料

発行 / 令和6年3月31日